



2020年9月11日

各位

会社名 永大産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 枝園 統博
(コード番号: 7822 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 西岡 秀晃
(TEL. 06-6684-3062)

業績予想及び配当予想の修正並びに特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、8月6日に公表いたしました「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、引き続き未定としておりました2021年3月期の業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、2021年3月期第2四半期連結会計期間において特別利益を計上いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	26,300	△590	△500	△170	△3.85
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期第2四半期)	27,668	△805	△777	△988	△21.83

(修正の理由)

当社は、2021年3月期の業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症が業績に及ぼす影響を合理的に算定することが困難であるため未定としておりました。新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明な状況であります。現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、2021年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想を算定しましたので公表いたします。

住宅業界におきましては、昨年の消費税率引き上げに伴う住宅購入マインドの低下に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により新設住宅着工戸数の減少が続いており、回復には時間を要すると考えております。上記業績予想におきましては、新型コロナウイルス感染症による住宅業界への影響が第2四半期以降も続くことを前提とし、売上高への影響を想定しております。

厳しい状況下ではありますが、当社としましては、引き続き住宅分野でのシェアアップと新設住宅着工戸数に依存しない事業構造への転換を進めるとともに、全社一丸となって粗利率の向上、販売費及び一般管理費の圧縮に取り組み、強固な収益基盤の構築に努めてまいります。

なお、2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的に算定することが困難であることから、引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な算定が可能になった時点で速やかに公表いたします。

2. 配当予想の修正について

基準日	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想	6.00	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	8.50	7.50	16.00

(修正の理由)

2021年3月期の配当予想につきましては、業績予想と同様に未定としておりましたが、上記業績予想を踏まえ、財務状況等に留意しつつ安定配当を維持、継続する方針に基づき、中間配当予想を1株当たり6円といたします。

なお、期末配当予想につきましては、2021年3月期通期の連結業績予想を未定とさせていただいていることから引き続き未定とし、業績予想の算定が可能になった時点で速やかに公表いたします。

3. 特別利益の計上について

当社は、2020年3月23日に公表しました「新会社設立及び事業譲受に関するお知らせ」に記載のとおり、株式会社ノーリツの連結子会社である株式会社アールビーの事業の一部譲受を決議したことを受け、事業運営を担う関東住設産業株式会社を設立し、事業譲受が完了いたしました。これに伴い、2021年3月期第2四半期連結会計期間（2020年7月1日～2020年9月30日）において、負ののれん発生益350百万円を特別利益として計上いたします。

なお、本件につきましては上記業績予想に織り込み済みであります。

(注) 本資料の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上